



**茨城県総合計画
(基本理念)**

～活力があり、県民が日本一幸せな県～

すべての子供の可能性を引き出す活力ある学校づくり

- カリキュラム・マネジメントの確立
- 豊かな学びの展開
- 安心して学べる環境の保障

(学校教育目標)

**知・徳・体の調和のとれた
人間性豊かな児童を育成する**

《 目指す学校像 》

- 元気で明るく楽しい学校
- 安全・安心な学校
- 家庭や地域から信頼される学校

大子町教育目標

個性と生きがいを育む教育
豊かな自然を愛し
心のふれ合う教育

大子町学校教育目標

ふるさと大子を愛し
賢く豊かに逞しく
生きる子を育てる教育

〔経営理念〕 地域の信頼に支えられ、児童一人一人が力を発揮して輝く学校

【合い言葉】

やさしく
元気に
すくすくと

目指す児童像

- 【知】 進んで学習する子
- 【徳】 やさしく思いやりのある子
- 【体】 元気でたくましい子

【目指す教師像】

- 人間性豊かな教師
- 子供の気持ちを理解できる教師
- 信頼される教師
- 明るく協調性に富む教師

経営方針

- 1 「確かな学力」の定着を目指し、個別最適な学びを推進して、主体的に取り組む児童を育成する。
- 2 様々な体験活動を通して、「心の教育」の充実を図り、心豊かな児童を育成する。
- 3 元気いっぱい運動をする健康で「たくましい体」の児童を育成する。
- 4 保護者や地域、関係機関との連携を密に行い、地域とともにある学校づくりに努める。
- 5 働き方改革を推進し、働きやすい職場、活力ある学校づくりに努める。

組織目標：互いのよさを認めて協働する ～児童も教師も

低・中学年グループ	高・特支グループ	教務・養教グループ
【学習】 互いを認め合い、友達の考えと比べて自分の考えをもつ場を設定する。 【学級・他】 一人一人が心の居場所を感じ、安心して活動できる学級をつくる。	【学習】 協働的な学び合いを通して、確かな学力の定着を図る。 【学級・他】 豊かな体験活動の中で、自己肯定感を高められる場を設定をする。	【学習】 学級担任と連携し、個に応じた支援を行う。 【学級・他】 一人一人のよさを認め、伝え、共有する。

【知】 確かな学力

- 個別最適な学びの推進
- 協働的な学び合いの充実
- 授業のユニバーサルデザイン化
- ICTの効果的活用
- 家庭学習の習慣化
- 読書活動の充実

- ・考えをアウトプットできる 80%以上
- ・授業相互参観 年1回
- ・年間50冊以上読破 90%以上

【徳】 豊かな心

- 当たり前のことの徹底
- 道徳科授業の充実「考え議論する道徳」
- 豊かな体験活動の実践
- 善行を認める活動の推進
- 縦割り班活動・児童会活動の充実
- よさを認め合う場の設定

- ・授業参観での道徳科の授業公開 年1回
- ・いじめアンケートの実施 学期2回
- ・善行賞の授賞 年5回

【体】 たくましい体

- 体育での運動量の確保
- 業間運動の充実
- 早寝・早起き・朝ごはん
- 危機回避能力の育成
- 感染症予防と早期対応
- アレルギー対応の徹底

- ・体力テスト A+B 55%以上
- ・運動が好き 90%以上

●信頼される学校づくりの推進

- 児童が「分かる」「できる」授業の展開
- 服務規律の確保・コンプライアンス研修の充実
- 地域とともにある学校づくりに向け、積極的な情報の公開・発信
- 学校運営協議会(CS)の促進
- いじめ防止基本方針の実践 ～認め合える学級づくりを土台に

●教職員の育成

- 校内研修、OJT研修の充実
- 一人1授業公開、研究協議の実施 等

●働き方改革の推進

- 週1日以上定時退勤日の設定
- 会議資料や各種たよりのペーパーレス化
- 退勤しやすい職場の雰囲気づくり

●チーム袋田小としての向上

- 「報・連・相・確」で支え合い、共通理解での対応
- 地域との連携・協働(地域の人材や教育的素材の活用)
- 保幼小中、関係機関との連携

校内研修のテーマ

主体的に課題解決に取り組む児童の育成

～協働的な学び合いの充実を通して～